

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)旭町(泉大津駅前)社宅 新築	階数	地上12F
建設地	大阪府泉大津市旭町271-1の一部	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	152 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年7月 予定	評価の実施日	2016年8月23日
敷地面積	938 m ²	作成者	(株)アモルファス建築設計事務所
建築面積	473 m ²	確認日	2017年3月8日
延床面積	3,949 m ²	確認者	(株)アモルファス建築設計事務所 笠井

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 46%

③上記+②以外の 46%

④上記+ 46%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4

音環境	3.1
温熱環境	3.0
光・視環境	3.7
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

機能性	3.3
耐用性	2.9
対応性	2.6

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.8

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.6
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

地球温暖化	5.0
地域環境	2.5
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合	特になし	0
Q1 室内環境	開口部にはT-2のサッシや建築資材はF☆☆☆☆を採用する等、室内環境に配慮している	Q3 室外環境(敷地内) 駐車場は機械駐車場を採用せず、平面駐車場とする事でCO ₂ の排出を抑えた。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い躯体材料を使用(品確法 劣化対策等級3相当)	LR3 敷地外環境 駐車台数や駐輪台数を確保し、交通負荷抑制に努めている。
LR1 エネルギー	特になし	
LR2 資源・マテリアル	節水型便器を採用し水資源の保護に配慮した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0156

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	(仮称)旭町(泉大津駅前)社宅 新築工事					
		建設地	大阪府泉大津市旭町271-1の一部、374-9の一部、249-1の一部					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					5		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				5.0	5	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体		3		
				住戸・宿泊	3.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					2.6	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					3.4	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								